

高松市立国分寺南部小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自ら学ぶ意欲と豊かな感性をもち、未来を創る国南小の子ども

【本校の課題】

- 平成27年度の1～5年生（現2～6年生）において、男女とも、多くの学年で多数の項目が、県・全国平均を下回っている。現4年生は数項目を除いて平均を下回っている。
- 月曜日に、欠席児童が増加する傾向にある。

【現状】

昼休みには外で遊ぶ児童の姿をたくさん見ることができるが、20分休みは女子があまり外に出ていない。また、朝の始業前や休み時間にしている運動はドッジボール中心で、多様な動きを経験できていない。

体育の授業においては、学年団で合同体育を設定しているが、領域によっては運動回数や運動時間の確保が難しい領域があり、柔軟に対応したり工夫したりする必要がある。

【取組】

教科体育の時間に

運動量を確保し、効果的な場を設定するために、合同体育を効果的に活用する。
また、授業後の学年団でふり返りの時間を持ち、次回に向けて授業改善する。

昼休みをしっかりと遊ぶ時間に

「みなみの日」は、昼休みの時間を長くし、学級で話し合った内容で学級のみんなで遊ぶ日を設定している。また、マイスタディのある火曜日は掃除なしの昼休みとし、遊ぶ時間を確保する。

ゲーム領域(タグラグビー)が1校1運動

今年度から、タグラグビーを1校1運動にする。教科体育の時間の中で、最初の準備運動に鬼ごっこを取り入れたり、競技そのものを行うのではなく簡易化したルール・ゲームで行ったりして一般化する。

放課後の運動クラブの充実

1学期は水泳、2学期は陸上、3学期はタグラグビーに取り組む。特に、他校ではオフシーズンになる冬場に、運動量が多く、かつ多様な動きのあるタグラグビー部をつくり、高学年の希望する児童が参加する。

クラスマッチ新種目の意図の明確化

これまでのクラスマッチ(運動会・水泳・器械運動・なわとび)に加えて、球技クラスマッチに取り組み、合同体育でリーグ戦を行い、「練習→試合→練習→試合…」というサイクルを通して、意欲と技能を高める。

【目標】

- 新体力テストの結果で県・全国平均並み以上の項目数がH27年度(21項目)を越える。
- 休み時間に運動場で遊ぶ児童の割合がH27年度よりも増える。
- 欠席する児童数を減らし、欠席者が1%未満の日が30日以上になるようにする。
- 放課後の運動クラブを魅力ある活動にし、参加児童が半数を越えるようにする。